

2014.10
第157号

看護かごしま



写真協力：豊廣 俊治（霧島市嘉例川）

Contents

公益社団法人鹿児島県看護協会 業務執行理事近況報告	2
ほっとニュース	3~5
研修会報告	6~7
副院長の部屋	8
災害医療について(新コーナー)	9
めざせ認定看護師	10~11
ナースセンターだより	12~13
平成26年度看護職のWLB推進ワークショップ開催	14~15
保健師職能委員会・看護師職能委員会・パワフルage委員会	16~18
地区だより	18~21
看護協会入会のご案内	22
入会特典	23
理事会報告	24

公益社団法人鹿児島県看護協会 業務執行理事近況報告

公益社団法人
鹿児島県看護協会会長 平川 涼子

秋の気配です。今年度は、通常総会で日本看護協会坂本会長に「これからの看護」のテーマでご講演いただき、スタートいたしました。参加者全員が看護職の役割を再確認するとともに力強いパワーを得られたことと思います。

現在のところ、それぞれの事業も順調に進んでおります。消費税の増税分を資源とした「新たな基金事業への手あげ」をはじめ、助産師出向支援モデル事業での助産師の「出向開始」、ファーストレベル研修を「80名定員」で開始、地区別研修の充実など、新たな取り組みも目白押しです。このあたりで、「ほっと一息」したいところですが、なかなか仕事から離れられません。そろそろ、高齢者の仲間入り、体と頭をさらに鍛えなければいけないのですが……。けれど、時間は作るもの、未知の領域へのチャレンジや何かやり残したことはないか等、自分自身のケアもじっくりと行いたいと思います。というわけで、「1か月ヨーロッパへ」と、旅する秋にできたらな〜と、叶わぬ夢を持っています。

公益社団法人
鹿児島県看護協会専務理事 原田 ケイ子

平成 26 年度上半期の主な取組を紹介いたします。理事会・運営委員会・常任委員会・特別委員会等各設置目的に則り、計画どおり運営されております。特に理事会では公益社団法人になって3年目ですが、各種規程等の改正や本年 12 月に実施される認定看護管理者教育機関更新審査等に伴う規程の改正並びに新たにハラスメント防止等規程を制定する等、様々な議題（詳細は本紙末頁）に対応していただいております。

また、本年度から各地区だよりを交代で本紙に掲載するとともに、最新の各地区情報をホームページに掲載するようにいたしましたので御覧ください。

9月2日から3日間、日本看護協会と県看護協会との災害支援ナース派遣調整合同訓練を実施しました。本年度は昨年度と異なり、事前の訓練の意思確認なしで災害支援ナース所属の医療機関との訓練としましたが、特にトラブルもなく8機関12名の災害支援ナースの派遣名簿を提出していただきました。

本県の看護職員の平成 25 年度の離職率は新卒看護職員が 5.8%（全国 7.9%）と大幅に減少しています。これまでのワーク・ライフ・バランス推進事業や新人教育等の離職防止等の成果が出てきているかと思えます。引き続き効果的な事業展開が必要なことから県知事への要望活動を実施しております。また、県・市町・団体等の開催される協議会・審議会等へ出席し看護職員の視点で意見・提案等と併せて連携に取り組んでいます。下半期もどうぞよろしく願いいたします。

公益社団法人
鹿児島県看護協会常任理事 加治屋 伸子

今年の夏は、桜島のドカ灰に見舞われることもなく、皆さまも研修に集中できたのではないのでしょうか。

今年度は、ほとんどの研修が教育研修計画に沿って実施されております。研修会館2階和室が研修室に改修され、6月の研修会からはこれまでより多くの方が受講できるようになりました。一方で、世の中のIT化社会に伴い研修の形も変化しつつあります。日看協の県協会へのインターネット配信研修は個人・施設でも受講できるものが増えました。受講機会の拡大や公平化をめざしたものです。県協会でも医療安全管理者養成研修に「eラーニング + 集合研修 1日」を導入しました。また、看護の質の均てん化に向け、「感染管理」と「皮膚排泄ケア」を地区研修に移行。身近な場所で多くの方が学び、看護のレベルアップにつながることを期待しての取り組みです。

なお、今年度、新たに実施する研修も出てまいりました。より専門性のある質の高い看護を提供できる看護職の育成を目的とした「糖尿病臨床技能向上研修」と「脳卒中リハビリテーション看護研修」です。協会研修が日々の看護に活かされるとともに皆様のキャリアアップ支援につながるよう研修の企画・運営に努めたいと思っております。

ほっとニュース

1

特定行為に関する研修制度が開始されます！：平成 27 年 10 月から

*「地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備などに関する法律案」が成立し、「特定行為に係る看護師の研修制度」が創設されました。

・特定行為とは？

診療の補助であって、手順書により看護師が行う場合は、指定研修機関において特定行為区分に係る特定行為研修を受けなければなりません。

・手順書とは？

医師または歯科医師の作成する指示文書であり、内容は、「看護師に診療の補助を行わせる患者の病状の範囲」「診療の補助の内容」等が定められています。

・特定行為の区分とは？

現在、呼吸器関連、動脈血液ガス分析関連、循環器関連、ドレーン管理関連、創傷管理関連、血糖コントロールに係る薬剤投与関連など 14 の区分があります。

・例えば、特定行為として、

脱水時の点滴：脱水の程度の判断と輸液による補正、病態に応じたインスリン投与量の調整等の行為があります。

※研修内容・研修機関は、今後厚生労働省令で定められていきますが、実践的な理解力思考及び判断力、並びに高度かつ専門的な知識・技能等が必要になります。

2

助産師出向支援モデル事業について

この事業は、助産師の地域偏在を改善するとともに、助産実践能力を強化するという目的で、平成 25 年～ 26 年の 2 年間、厚生労働省から日本看護協会が委託を受け、モデル事業として取り組んでいます。本会も参加し、現在、鹿児島大学病院の助産師が済生会川内病院へ出向し、半年間ではありますがスタッフの一員として活躍しています。また、出向ではありませんが、鹿児島市立病院⇄柿木病院、鹿児島市立病院⇄のほり病院の間で、双方向の研修を行い、それぞれが自施設ではなかなか経験できない助産の経験を重ねています。初めての試みですが、今後も継続した事業になるよう検討していきたいと考えています。

3

新規研修会のお知らせ

鹿児島県からの委託を受け、中堅期の看護職員の能力向上を目的とした研修会を下記の通り実施することとなりました。研修会案内は後日、各施設へ別途送付いたします。

糖尿病臨床技能向上研修

目的：罹患率が高く要介護要因でもある糖尿病分野において、質の高い看護ができる看護師を育成する

開催日：平成 27 年 1 月 17 日（土）、18 日（日）、19（月）の 3 日間
9：30～17：00

対象：医療機関等にて糖尿病看護に携わる看護師
（看護師として実務経験 3 年以上ある者。研修期間全日程に出席できる者）

講師：医師・薬剤師・管理栄養士・理学療法士・認定看護師

内容：講義・演習・事例検討

脳卒中リハビリテーション看護研修

目的：本県は全国に比して脳卒中罹患率が高い状況にある。その重症化予防やリハビリにおいて看護は重要な役割がある。当研修を通して脳卒中リハビリテーション看護について理解を深め、より質の高い看護ができる看護師を育成する

開催日：平成 27 年 2 月予定（3 日間）

対象：脳卒中リハビリテーション看護に携わる看護師
（看護師としての実務経験 5 年以上ある者。研修期間全日程に出席できる者）

講師：医師・理学療法士・認定看護師

内容：講義・実技他

4

会員管理システムが変わります（平成28年10月をめぐり、）

***入会申し込みや会費の納入が便利になります。そして新たなサービスも・・・**

- ・会費の支払い；口座振替、銀行振り込み、コンビニ決済・・・等へ
- ・会員証；永年化
- ・会員の福利厚生；様々なサービスを検討中



5

研修会日程変更のお知らせ

看護師研修会の日程については17頁に記載しております。

6

平成26年度鹿児島県看護協会通常総会でのご質問・意見への対応について

鹿児島県看護協会通常総会から4ヶ月経ちました。

皆様のご参加・ご協力で盛会となり、心から感謝申し上げます。

また、坂本会長のご講演で、これからの看護職の役割が明確になり、皆様は大きなパワーを得られたのではないかと思います。

さて、遅くなりましたが、総会でいただいた御質問・御意見への取り組みについてお知らせいたします。

1、研修の活用等について（ラダーや目標管理にいかし、個人の成長を促す仕組み作り等）

- 1) 本会の教育研修計画にある研修会受講記録一覧表の活用をすすめる。
- 2) 平成26年度に日本看護協会のクリニカルラダー案が提示される。全国で通用する内容があるのでその活用を検討する。

2、看護職確保・定着対策について

- 1) 再就業セミナーやWLB推進事業、ナースセンターでの就業相談・NSセンターへの登録推進、看護師養成所訪問等地道に事業を継続するとともに、本年度は、中小病院への取り組みも強める。
- 2) 行政や県医師会等との連携・協力も強化する。

3、本会への加入促進について

- 1) 加入促進については、本会や地区の研修会、長期研修、病院機能別の看護部長研修会などへ出席し、さまざまな場を活用する。施設・学校訪問も継続する。

4、看護師養成所への支援について（教育・実習現場の把握、教員の研修支援等）

- 1) ナースセンター職員の看護師養成所訪問時に、現状や課題について情報を得る。
県看護係との連絡会議・看護学校教育協議会等で、情報交換し、必要な研修など検討する。

5、助産師が主に行っている性教育事業の継続や担当者の学習会等について

- 1) 本会に性教育担当のワーキンググループ等を位置づける。詳細については、担当者会で検討する。

*上記取り組みにつきましては、本会の諮問機関である常任委員会・特別委員会へ関連の内容を諮問事項とし、平成26年度の活動計画に追加しすすめていくことが、7月19日の理事会で決定いたしました。また、事業担当の業務執行理事も一緒に取り組んでまいります。経過等につきましては、今後、ホームページ・広報誌・理事会等で報告いたします。どうぞよろしくお願いたします。

7

「継続教育の基準 Ver.2の活用のためのガイド」

あなたの施設でも活用しませんか。日看協のホームページからダウンロードできます

「継続教育の基準 ver.2」
活用のためのガイド

「継続教育の基準 ver.2」(2012年4月本会公表)の具体的な活用方法を項目別に解説

「継続教育の基準 ver.2」
「継続教育の基準 ver.2」活用のためのガイドは、本会公式HPからダウンロードできます
<http://www.nurse.or.jp/>
(ホーム>生涯学習支援>継続教育の基準)

日本看護協会 継続教育の基準

検索

8

平成27年度鹿児島県予算等に関する要望

鹿児島県看護協会は、平成26年9月5日、平成27年度鹿児島県予算等に関し以下の看護職員確保対策等に対する要望を行いました。

- 1 要望先：鹿児島県知事（保健福祉部長）
- 2 要望事項

(1) 看護職員の確保・定着の支援策について

- ナースセンターの充実について
- 訪問看護の業務効率化の推進
- 医療勤務環境改善支援センターの設置

(2) 准看護師の進学支援及び准看護師養成所から看護師養成所への移行支援について

(3) 看護教員養成講習会の開催（看護教員養成支援事業）について



9

ハラスメント防止対策について

平成26年7月にハラスメント防止等の規程を新たに定め、当協会で開催するすべての研修会の受講生、講師、委員会委員、職員等に関するハラスメント防止対策に取り組んでいます。日頃から自分の言動や態度が他人へ不快な思いをさせていないかをチェックし振り返ることが大切かと思えます。ハラスメントと感ずることがありましたら、当協会では相談窓口にて2人体制で対応していますので関係性が悪化しないうちに早めに電話や面談などで御相談ください。

相談日時：原則当協会開館日の9時～16時 電話：099-256-8081

相談方法：ハラスメント相談員に相談があると申し出てください。

10

平成27年度公益社団法人鹿児島県看護協会役員・推薦委員並びに平成28年度日本看護協会通常総会の代議員及び予備代議員の公募について

平成27年度鹿児島県看護協会役員・推薦委員並びに平成28年度日本看護協会通常総会の代議員及び予備代議員は、平成27年5月の通常総会において選出されます。次年度（平成27年度）に改選される役員・委員並びに平成28年度日本看護協会通常総会の代議員及び予備代議員について公募を行いますので、立候補される方は次の要領で届け出てください。

- 公募する役員・推薦委員会委員・代議員及び予備代議員は、次のとおりです。
- **正会員5名以上の推薦が必要です。**（定款施行細則第12条）
- 届出書（様式）に必要事項を記入し、提出してください。

役職名	公募数
副会長	1名
保健師職能理事	1名
看護師職能理事Ⅱ	1名
地区理事(川薩)	1名
地区理事(始良伊佐)	1名
地区理事(大島)	1名
監事	1名

委員名	公募数	摘要
推薦委員	7名	

平成28年度日本看護協会通常総会

代議員・予備代議員	公募数	摘要
代議員	7名	各地区から1名（准看護師含む）
予備代議員	7名	

※ 日本看護協会代議員は、会員数により人数が決めます。今後、日本看護協会から依頼がありますが、代議員数に変更があった場合は、ホームページや平成27年1月発行予定の「看護かごしま」に掲載します。

届出用紙・届出先・届出期間

- ・届出用紙は、鹿児島県看護協会ホームページからダウンロードするか、看護協会（庶務係）にお問い合わせください。
- ・届出先：☎890-0064 鹿児島市鴨池新町21-5
公益社団法人鹿児島県看護協会推薦委員会委員長宛
- ・届出期間：平成26年11月1日～平成27年2月28日
- ・照会先等：電話 099-256-8081 ホームページ：<http://k-kango.jp>

※立候補者、推薦委員会からの推薦を受けた者いずれも総会2週間前には会員に発表します。

研修会報告



1. 一般病院医療従事者認知症対応力向上研修会（鹿児島県委託事業）を実施しました。

県内医療機関における認知症患者さんへの理解と対応を深める一助となるよう、認知症の方に接する医療従事者の方々を対象に昨年度から実施しているもので、平成26年度は鹿児島会場で2回、大隅会場で1回開催、受講者は約1000人。講師は、老人保健施設愛と結の街施設長 谷山病院医師 認知症サポート医 黒野 明日嗣先生で、「認知症の人への対応～基礎と考え方～」をテーマに、認知症の人の理解と認知症ケア、認知症の人のアセスメントと対応の基本・問題場面での対応方法、院内・院外での多職種・他職種との連携について、お話ししてくださいました。



参加者からは、「とてもわかりやすい内容で、興味深く学ぶことができた。認知症患者への接し方など具体的で大変勉強になった。」「認知症の患者さんへの対応で悩むことは多く、今回の研修でヒントを得ることができた。活かしたい。」「気持ちを落ち着かせる」すごくいいなと思った。感情を記憶できる声掛けがこれからたくさんできるようにしたい。」「自分たちがBPSDのスイッチを押さないような看護をしていきたい。」「患者様を一人の人間としてみることで、一人一人の行動、発言、表情すべてに何らかの意味があるということをお忘れずに信頼される看護師を目指していきたい。」「認知症認定看護師を目指している。とても興味深い内容に感謝しています。現場で活用しながら認知症の方と向き合っていきたいと思います」「せん妄に関することがとても興味深かった。薬に関してもっと気を配ろうと改めて思った。」「現場レベルの話がありわかりやすかった。」等々多くの感想が寄せられました。多職種で学びを共有することができた研修会でした。



2. 一般病院看護リーダー研修会（鹿児島県委託事業）を実施しました。



認知症の人への対応方法など実践的な技能を習得し、一般病院での認知症ケアの質向上を図ることを目的に開催されました。講師は社会医療法人製鉄記念広畑病院老人看護専門看護師森山祐美先生。

「認知症の患者さん、、、いやだな… こまるな… できたら避けたいな…」こんな気持ちから「認知症の患者さん、、、大丈夫よ、任せて」をめざして、2日間で127名が事例検討を行いました。持参した事例をもとに、どんな状況に困ったり悩んだりしているのか、どんなことを検討してほしいのか等紹介した後、グループで1例を選択し、アセスメントのし直しとアセスメントに沿ったケアの導きだし、チームでケア提供する際どのような工夫が必要か等看護リーダーとしての役割も意識してもらいながら事例検討に取り組みました。

参加者からは、「認知症の患者さん自身のアセスメントが不足していた。アセスメントの重要性を改めて感じた。」「その人の情報・アセスメントが大事。個別性を重視して1つ1つ細やかに状況を見ていきたいと思った。」「患者の言動1つ1つをなぜ？と掘り下げてアセスメントし、ケアにつなげていきたい。」「患者の生活背景や家族の立場、思いを推測でなくきちんと確認しながら看護をしていくことが大切だと感じた」「認知症の方の背景や尊厳を考慮して介入ができていないので、今後は入院時の情報を含め、入院中を通して患者目線で関わってほしいと思った」「グループ発表と先生のコメントも大変参考になり、自身の振り返りと今後の看護に活かせるものでした」等、先生の講義と事例検討から認知症の看護について深めることができた！と肌で感じた研修でした。



3. 新人研修（専門職としての第一歩～看護職としての自覚と責任ある行動について考える～）

看護職になって半年。今年も多くの中々しい新人が…。同級生でしょうか、会場のあちこちで、にぎやかな声が聞こえてきました。

2日間で61施設から243名が参加。平川会長の「職能団体としての看護協会の役割」に引き続き、社会医療法人博愛会相良病院理事長補佐・総看護部長 江口恵子先生による講義、グループワークがありました。

受講者は「これまで体験した看護の中で印象に残っていること（人権を尊重した患者・家族への看護に関して）」をテーマに、なぜその事例を選んだのか、関わりを通して考えたこと・気づいたこと、現在悩んでいること・困っていること等事前レポートを提出し研修に臨みました。

事前レポートは、これまでの新人看護職員卒業研修責任者、担当者、実地指導者研修の積み重ねでしょうか、年々「看護する、ケアする」ことの大事さや新人にこんな関わりをしてくれたのだと新人を育てる風土が感じられるものが増えているようです。

研修会では、事前レポートから抽出された「現在悩んでいること・困っていること」で共通する課題3つが提示され、グループメンバーが共通して感じている悩みに最も近いもの一つを選んでグループで意見交換しました。グループワーク第2段は先輩看護師の事例を通して、看護専門職としての自己のありようについて振り返り、これからどのように取り組んでいけばよいか明確にすることをねらいに行われました。講義では看護師としての自覚と責任ある行動ってどのようなことなのだろう？専門職としての看護のあり方についてお話していただきました。

研修の振り返りと今後の自己の取り組みから、参加者の声を紹介しましょう。



看護師になって半年。できることも多くなったけど…。

- ・業務も増え、複数患者さんの受持ちも始まって、覚えないうけないことや時間に追われ傾聴できていない、個別性を重視した看護ができずにいる私。
- ・目の前のことで精いっぱい優先順位をつけた看護ができずにいる私。
- ・業務や手技の習得にだけ気を取られていた。
- ・理想と現実のギャップ～学生のときは寄り添える看護をしたいと言っていたが、働いてみるとなかなか簡単なことではないと思う
- ・自身の知識不足、成長を感じることができない不安な気持ち
- ・先輩や患者さんに迷惑ばかりかけている私。
- ・できない自分に自己嫌悪
- ・悩み、苦しみ、逃げ出したくなり、そんな自分が嫌で自己否定
- ・先輩にどう見られているか？

講義やグループワークで元気がでた！

- ・違う環境で働いていても悩むことや困っていることは、同じだと共感できた。
- ・皆日々葛藤しながらも頑張っていることを知り、自分だけないと勇気をもらった。
- ・1年目だからできないでなく、1年目でも気づけることや患者さんにできることは沢山ある。
- ・違う病院の同期と話し合い、悩みや困っていることの共有だけでなく、それぞれの病院のやり方等情報交換できてよかった。
- ・さまざまな思いがありながらも看護という職について頑張っているのだと思うと自分の中で悩みため込んでいたものが少し楽になり、リフレッシュできた。参加してよかった。「仕事ががんばろう」と思えた
- ・「やっぱりこの仕事は面白い」と確認できた。続けたい。
- ・「患者さんとのパートナーシップを築く中で」という先輩看護師の事例を通して、病と闘い、寄り添うことができる看護師という職業は改めて素晴らしいと思った。
- ・「上司は皆さんの成長を楽しみにしている」と聞き、仕事、頑張れそうです。

こんな看護を目指したい

- ・患者さん・家族の発言一つ一つの意味や思いをくみとり寄り添える看護ができるように頑張っていきたい。
- ・忙しくても、この方のために何ができるのだろう、この発言の意味することはなんだろうと関心を寄せて、「同じ方向に向かう」ことを意識して行動できるようになりたい。
- ・患者さん一人一人をしっかりと見て、深く関わって看護できるようになる。課題です。
- ・「あなたに出会えてよかった」と言ってもらえるように、患者さんと向き合いながらより良いケアを提供し、自分も成長していきたい。
- ・「患者さんとのパートナーシップを築く中で」の先輩看護師のように「看護職としての自覚や誇り、楽しさがあるか？」ときかれたら「はい」と返事できるようになりたい。

会員の希望者に受講印を押印しております！

希望者は研修会当日に教育計画を持参し、45頁の「受講記録一覧表」に必要事項を御記入のうえ係に提出してください。

御自身がどのような学習をされたのかの証明にもなりますので、是非御活用ください!!

副院長 の部屋

Vol.3



医療法人青雲会 青雲会病院
副院長兼看護部長
今村 由美子

当院は、鹿児島県中央部に位置する人口約7万6千人の始良市にあります。鹿児島市や霧島市に隣接しており、空港、高速道路へのアクセスも容易で、桜島、錦江湾を前望とし、緑豊かな山々に恵まれた素晴らしい環境にあります。

昭和55年に31床で開設され、「何か世の為人の為」を理念に掲げ、現在は、136床の病床（一般病床100床7対1看護、回復期リハビリ病床36床）で、救急医療を担っており、介護老人保健施設、通所リハビリテーション、居宅介護事業所を併設しています。

私は、平成6年に病棟師長、看護部長を経て、平成15年4月に副院長兼看護部長の辞令を頂きました。当時、全国的にも看護職副院長は、50名位と少なく、業務、役割をどのように果たせばよいのか分からず不安な気持ちでスタートしました。今、振り返ると看護部中心に物事を考えていたようでした。川井田理事長の思いは、看護部だけではなく、病院全体に視野を広げ、コメディカルも統合し、病院組織に必要な情報収集や問題等を把握し、病院運営を効率的に管理してほしいというお考えだったと思います。私は、出来る事から実行しようと思い、先ず、患者、家族、職員の様々な相談等を受ける窓口となりました。当院の困難な問題点等は、チーム医療の充実、連携で、スピーディに対応し、

関連部署と共に解決しております。特に印象深い思い出は、平成20年7月の病院新築移転です。職員が一致団結し、トラブルもなく引越しが出来た喜びは今でも鮮明に覚えています。

また、副院長という役職にある以上、全ての部門の立場を考慮しながら活動することが重要です。副院長の資質や能力は、リーダーシップ、人柄、調整能力、人間関係構築、経営面の基礎的知識、企画、計画、実行力等様々な事が求められます。選ばれる病院になるためには、経営の安定であり、職員の満足は、生活が安定することや、仕事へのやりがいにも繋がります。病院経営の結果は、数字として表わされますので経営に関する用語、指標の知識を更に深め、今後も積極的に関与していきたいと思えます。

今年で副院長兼看護部長の辞令を頂き11年目に入り、今回の原稿依頼は、自分を振り返る大変良い機会となりました。今後の目標は、「救急病院としての使命を果たし多くの患者から選ばれ続ける病院づくり」「青雲会病院で働いて良かった」と思える職員が一人でも多くなるように働きやすい職場環境の形成に努めることです。これからも大いに組織に貢献できるよう外部の方々の意見等を参考にし、自分を更に磨いていこうと思えます。

最後に「笑顔と優しさが一番」のキャッチフレーズを大切に、今まで以上に素晴らしい組織になるようにしたいと思っています。

次回は

社会医療法人 天陽会
中央病院
の副院長です。

2014年新コーナー

NEW

災害医療について



鹿児島市立病院
救命救急センター
副師長
中馬 千秋

私は、平成 19 年 12 月厚生労働省主催による、兵庫県医療センターで開催された、日本 DMAT（災害急性期に救急医療を有する専門的トレーニングを受けた災害派遣医療チーム）研修に参加しました。DMAT 研修では、災害医療概論に始まり、災害医療対応の原則（CSCATTT）、災害現場での傷病者観察手順と STAR 式トリアージ、災害時の看護師の役割、広域医療搬送における DMAT 活動など、多くの災害時医療体制システムなどを学ぶことができました。DMAT 研修に参加したことにより今まで、災害医療、災害看護について多少は理解していたつもりでしたが、防ぎ得た災害死を最小限に抑えるために、看護師として災害時の基本的役割を勉強することの大切さを改めて感じました。特に災害医療では、警察、消防、行政、医療職が一体となり、効率的に各組織が機能し、看護師として他職種と共通認識をもち活動することが必要であると考えます。

平成 23 年 3 月 11 日、私は鹿児島市立病院 DMAT 隊員として東日本大震災に対し宮城県への派遣命令を受けました。慌ただしく準備を行った後、21 時に鹿児島市立病院より隊員 5 名で DMAT 搬送車を運転し福岡空港に向けて参集することになりました。福岡空港に到着すると、テレビ映像を通して今まで見たことのない、津波による災害の様子を知ることができました。果たして自分に与えられた役

割が果たせるか不安でいっぱいになったことを今でも思い出します。その後、自衛隊機に乗り九州 DMAT チームとの合同で宮城県に向いました。宮城県上空で見た外の風景は、あちこちで煙が上がり、今まで陸地であったと思わせる場所が、津波にて跡形もない状況であると理解することができました。3 月 12 日に、私は宮城県の自衛隊基地にて災害活動を行いました。その時に、14 歳の中学生が救急車で搬送されてきました。中学生は一晚中外にいたとのことで手足は冷たく、低体温の症状が見られました。意識ははっきりし、会話も可能で私の質問にもはっきり答えてくれました。点滴を取りながら話しかけると、両親と避難する最中に津波に襲われ、父親と手を繋いでいたが途中で、手が離れてしまいその後父親との連絡は取れないとのことでした。私は、中学生に話しかける言葉も見当たらず、ただ、冷たい身体を温めることに精一杯でした。今でも、中学生のことは思い出され、父親ときっと再会できたと信じるのみです。

東日本大震災では、DMAT 隊員として、十分な活動はできませんでした。災害への学習、準備研修を通して事前準備を行っているつもりでしたが、阪神淡路大震災、東日本大震災では地震による災害状況に多くの違いがありました。建物の倒壊による被害、津波による被害に分けられ被災地の疾患も異なりました。今後、これらの振り返りを行い災害の種類に応じた災害看護を提供することが必要であり、看護職として普段から災害への意識を持つことが何より大切だと思います。

めざせ!認定看護師



認定看護師紹介

認定看護師の活動内容・やりがいについて



霧島市立医師会医療センター 慢性心不全看護認定看護師兼副看護師長 安藤 夕佳

慢性心不全看護認定看護師は2012年に誕生した分野で、全国で184名(2014年8月22日現在)、県内では2名の慢性心不全看護認定看護師がいます。

私は2011年に1期生として慢性心不全看護認定看護師教育課程で研修を受け、2012年に認定資格を取得し活動を開始しました。

慢性心不全はあらゆる心疾患の終末像といわれ、急性増悪と寛解を繰り返しながら悪化していく特徴があります。心不全の病態は、複雑多様であること、心不全予防から、急性期・回復期・慢性期・終末期と長期的展望に立ったケアが連続的に必要であり、対象の状態変化に伴って成果目標を定め、ケアの優先度を決定していくことが必要となります。慢性心不全看護認定看護師の役割は慢性心不全患者の心不全増悪因子を評価・モニタリングすることで、心不全増悪の回避・予防のためのケアを行う他、自己管理能力を高める支援をすることです。

病棟には虚血性心疾患や慢性心不全の患者さんが多く、心不全の増悪で入院を繰り返し、その度に心機能が低下し終末期へ移行していく患者さんも多い現状にあります。手術適応であっても、わざわざ遠くで手術をしたくないと手術を選択しない方もおり、高齢で手術ができず根治が不可能なこともあり、心不全を増悪させないように生活方法を取得し実践・継続していかなければなりません。しかし、今までの生活を変えることができず、内服中断や飲水・塩分・カロリーの取りすぎ、活動量の増加など自己コントロール不足から心負荷がかかり心不全を繰り返してしまう患者さんも多くいらっしゃいます。「疾患」だけをみるのではなく、患者さんが“病む”ことで生じている思いや体験、生活の変化などに関心を寄せ、患者さんを知ろうとすることから始まる看護を大切にしています。

現在は病棟所属であり、入院中の心不全患者の看護実践を中心に、カンファレンスでの事例検討、院内研修、公開講座などスタッフ教育の活動を行っています。昨年からは月1回、専任日に外来での相談・ケアを開始しており、地域の訪問看護ステーションからの相談も受けています。

認定看護師としてまだ試行錯誤しながら活動している面もありますが、患者さんや家族の意向を尊重し、折り合いをつけ、生きがいを持ちながら地域で生活していけるように活動していきたいと思っています。

認定看護師紹介

救急看護認定看護師の活動内容について

霧島市立医師会医療センター
救急看護認定看護師兼副看護師長
本田 弘志

救急看護認定看護師教育課程は、1997年に皮膚・排泄ケア認定看護師教育課程とともに他分野に先駆けて開講され、全国では926名、鹿児島県内では12名が登録（2014年8月現在）されています。私は2012年に救急看護認定教育課程において学ぶ機会を得て、2013年に資格を取得し、活動を開始しました。

救急看護は一刻を争う緊急場面で、少ない情報や短い時間の中、瞬時に患者さんの緊急度や重症度を把握し、全身状態をアセスメントしながら、処置や治療の予測と準備、診療の補助、他職種との連絡や調整、時にはご家族に対する代理決定支援を行います。

霧島市立医師会医療センターは、始良・伊佐二次医療圏の中核病院として、救急車受入れ台数・受診者数は年々増加しています。近隣に三次救急施設はなく、患者は一次から三次救急の多岐にわたり、受入れる疾患の範囲や病態、合併症をもつ方も多く、突然の発症や交通外傷、心肺停止などで、不幸な転機をたどる例も少なくなく、本人・家族にとって何の心の準備もない中で始まる生命の危機、怒りや悔やみ、泣き崩れるなど、様々な感情を表出される場面を経験し、対応には疾患や病態だけでなく、人としての危機的感情や悲嘆反応の対応も求められます。その一方で、搬送される患者さんの約半数は帰宅され、高齢者や独居の方が多く、日常生活状況や健康管理に関する情報を限られた時間で把握し、自ら日常生活が行えるような帰宅時の説明に配慮し、患者の回復と症状軽減、重症化予防、再受診の判断する知識をもてるように努めています。

院内では心肺蘇生やフィジカルアセスメント研修・呼吸ケア講義、また多職種での呼吸ケアラウンド等を通し、現場での相談業務や機会教育の充実を目標に活動しています。日々、どのような看護ケアが必要であるのかといった判断と実践に迷うこともあり、根拠に基づく救急看護実践と患者さんと支えるご家族への心のケアを学び続けることの重要性を痛感しています。

また地域支援活動として、地域の看護師を対象に救急看護公開講座の開催や消防および近隣救急病院と協働して「霧島救急カンファレンス」を開催し、地域の救急看護ケアの向上に努めています。

チーム医療が推進され、様々なガイドラインが改訂される中で、院内での救急看護のリーダーシップをとり、患者さんに一番身近な私達看護師が、根拠に基づく看護ケアをタイムリーに提供できるよう活動を続けたいと思います。



＜院内教育風景＞



＜呼吸ケアラウンド＞



ナースセンターだより



It's new!

- ★ ハローワークの求人情報のオンライン提供サービスが開始
- ★ ナースセンターへの求人・求職登録が簡易に変わります。



お仕事探しの皆さまへ

- 9月1日からハローワークの求人情報をナースセンターでも活用できるようになりました。これまでより求職者の要望にこたえやすくなりましたので、どんどんナースセンターを活用して就業していただきたいと思っています。
- 平成27年4月から、ナースセンターへの登録システムが大幅な変更になります。求職登録が簡易になり求人情報も得られるようになります。今後随時ホームページやナースセンター便り等で詳細をお知らせいたします。



再就業支援セミナーについて

【技術支援セミナー】

ちょっと自信がないあなたに・・・

現在の注射技術を身につけませんか？

就業がグッと近づきます。

開催時期：毎月第4金曜日

開催場所：鹿児島大学医学部・歯学部附属病院
総合研修シミュレーションセンター

申込方法：各月の1日～10日まで

※ナースセンターに電話でお申し込みください。



【助産師再就業支援セミナー（鹿児島市）】★

11月11日～20日の間の6日間で実施予定です。

余裕がありますので、募集を見逃した方もご一報ください。

最新のマタニティケアを再確認し、ローリスク、ハイリスクの判別及び初期介入に必要な知識・技術・態度を身につけ、職場復帰を容易にします!

※ナースセンターに電話でお問合わせください。

看護職の再就業支援セミナー 開催

★熊毛地区(西之表市)10月16日～22日(4日間)

★川薩地区(薩摩川内市)11月6日～12月5日の間の3日間



- ※ WLB 推進ワークショップフォローアップと平成24年度からのワークショップ参加施設報告会を同時開催します。鹿児島県におけるWLB推進取り組み状況と施設の成果をぜひ聞きにいらしてください。

期 日：平成26年12月12日(金) 9:00～16:00

場 所：看護研修会館 3階大会議室

平成26年度 ナースセンター事業経過報告

★ふれあい看護体験

今年も「看護の日」記念事業として、ふれあい看護体験が実施され、それぞれの施設で多くの参加者が貴重な看護体験をしました。



参加施設 43 施設
体験者数 447 人



★学校訪問

13施設を訪問しました。ナースセンターの紹介と郷土の施設に多数就業し、働き続けていくことが大切であると話しかけています。

★ハローワーク出前相談

4月から8月で17人が来所し、就業に結びついています。
期日：毎月第4木曜日 13:30～15:30
場所：鹿児島公共職業安定所

★出前授業

平成26年度は、これまでに小・中・高等学校・短大等に看護職が出向いて、出前授業を行っています。



*対象は、児童・生徒・学生はもちろん、教師・保護者なども含まれます。

訪問看護研修ステップ1の フォローアップ研修開催の 御案内について

看護協会の重点目標は、在宅看護です。今後、社会から大きく期待される分野です。たくさんの方々の受講をおまちしています。

日時：平成26年10月25日(土)
9:30～16:00

場所：看護研修会館

テーマ：事例検討

「寄りそった看護の実践」
について考える。



求人施設の皆さまへ



平成27年4月から、NCCSシステムが大幅に改善され、インターネットからの登録が簡易になります。

また、平成27年10月1日から看護職の離職時届け出が努力義務になることにより、幅広い地域の潜在看護師の把握が容易になり、鹿児島市以外の求人にも対応しやすくなると思われます。どうぞ積極的にご活用ください。

ナースセンターでは、求人施設への支援を積極的に行っていきたいと考えております。

求人に関する情報提供や、ナースセンターへの要望をお寄せください。

鹿児島県ナースセンター

[看護師等無料職業紹介所 46-ム-010002]

◆窓口・お電話でのご登録・ご相談◆

相談日：月～金 午前 9:00～12:00
午後 1:00～ 4:00

住所：〒890-0064

鹿児島市鴨池新町 21-5

TEL：099-256-8025

FAX：099-256-8079

E-mail：kagoshima@nurse-center.net

ネットで求人・求職！ e-ナースセンター
<http://www.nurse-center.net>

鹿児島県の求人・求職登録状況(6月～8月分)

(人)

	有効求人数					有効求職者数					就職者数				
	保	助	看	准	計	保	助	看	准	計	保	助	看	准	計
6月	15	5	409	23	452	9	11	115	21	156	0	2	25	4	31
7月	11	6	402	20	439	9	12	117	20	158	1	2	34	2	39
8月	11	6	385	23	425	9	9	102	19	139	0	1	14	3	18

平成26年度看護職のWLB推進ワークショップ開催 8月11日・12日

KJ法でグループワーク中
です。



鹿児島生協病院
やる気満々でした。

平成26年度に新たに3施設が参加し、鹿児島県では総計12施設がWLB推進事業に取り組みました。ワークショップ当日は公開講座を含め34施設から111名が参加しました。昨年比し施設数は少なかったのですが、看護管理者の参加が大多数であったことが特徴的でした。(NC事務局)

一緒に
頑張り
ましょうね

私たちは、事務次長1名を含む10名でWLBワークショップに参加しました。KJ法による現状分析で出されたカードの枚数は108枚。ここからの課題抽出に四苦八苦しましたが、助言者の方の温かいサポートで目指す3年後のゴール“チーム医療の充実で「患者さんも満足、私も満足」を導き出せました。他職種を巻き込んでがんばります。
(鹿児島生協病院：薄窪和代)



施設支援員の皆さん



公開講座は盛況でした
講師の先生方も熱が入ります



病院 71 床 + 老健 50 床の小さな組織ですが、WLB 推進ワークショップに参加しました。全職員で取り組む予定です。既婚者・子育て中の看護師が多いので、もともと「子育て支援は当然」の職場風土ではありましたが、ワークショップで、その影響で子どものいない人が負担に感じていることがわかりました。適切なルール作りで、皆が納得できる調和のとれた職場を目指していきます。
(玉水会病院：今吉和子)



玉水会病院
チームワーク抜群でした



社会保険労務士の支援者からもアドバイスをもらいました。

WLB 推進は全国的かつ全職種の目標です。鹿児島県では労働局に加え、社会保健労務士会、鹿児島大学教官等、幅広い方々の支援をいただいています。きっと良い職場環境につながると感じています。(NC事務局)

働き続けられる職場を目指して



「笑顔とまごころ」で働き続けられる職場を目指して、WLB 事業に取り組んでいます。ワークショップでは、参加した皆の本音が出るわ・出るわ！「看護ケアに費やす時間が不足している」「将来の展望に不安がある」等の課題も明確になりました。3年間の活動ですので、楽しく、明るく、あきらめずにまえにすすんでいこうと思います。
(池田病院：前野かつ子)

大隅半島は元気です!!
南風を中央へ送ろう!



おぐら病院が昨年からの取り組みを報告、自分たちのスピードで頑張っています



課題はどこに?
一生懸命討論中



保健師職能委員会

ゆめぴか通信

「ゆめぴか通信」は、地域で働く看護職に向けて、鹿児島県看護協会保健師職能委員が作成し、情報発信する機関誌です。

本年度、第1回目の保健師研修会を開催しました！

平成26年7月18日（金）に研修会を開催しました。唐津市保健師の城浩子先生、元厚生労働省健康局長（現千葉県病院局長）の矢島鉄也先生にご講演いただきました。今回はその様子を中心にご報告します。

“組織や個人に、いかに変化を起こしていくか”を考える－唐津市の城浩子先生に学ぶ

保健師活動最適化ための有効な機会として、看護協会施行事業を活用し実践的に変革に取り組みられた唐津市の活動について、お話しいただきました。特に印象的だったのは「大切にしたいことは何か？」「何を実現したいのか？」「どのように取り組むのか？」「どう次につなげるか？」を常に考察しながら「組織をどう巻き込むか？」を思考過程に組み込んでいくことで、よりダイナミックな成長展開を描こうとされるチャレンジングな姿でした。

講演の様子－ワクワクするお話でした！



フロアからも反響が大きく、多くの質問が投げかけられました！

語り合いの場面－笑いあり、頷きあり、感動あり



唐津市で30人の保健師が思いをひとつにして取り組める秘訣・工夫は？

“話し合い”を大切にすること。それともう一つは、みんなの声を聴くときと、そうでないときと分ける。「やるからついてきて！」のときもある。闘うときには、「言うときはいうわよ！」と伝えているつもりです！ by 城先生

‘共に働く仲間の顔が浮かんでいるかのごとく’ 楽しみに語る城先生－メンバー同士「こうすると面白いね」が自由につぶやき合える“土壌づくり”にこそ、その取組みの本質があるように感じました。

看護協会（2014）発行『市町村保健活動のあり方に関する検討報告書Ⅲ－市町村保健活動を推進するための方策』（<http://www.nurse.or.jp/home/publication/>）に、上記の施行事業の様子がまとめられています。「業務チャート」「ピピットシート」などの“保健師活動を最適化するツール”を、活用してみませんか。

“データを読み取ることのできる保健師になろう！”－矢島鉄也先生から学ぶ

開口一番「（健診・レセプト・介護保険）データを読み取れる保健師になって欲しい！」とのメッセージを以て熱く語り始めた矢島先生。「国民健康保険法に基づく保健事業の実施等に関する指針」の改正を踏まえ、データヘルズ解析を活用した地域診断の重要性について、語り尽くされました。

講演の様子—2時間、熱く！熱く！熱く！**語り合いの場面—いかにして、取り込めるか**

「具体的かつ考え抜かれたデータを効果的に提示することによって“住民が自分で考える”健康なまちがつけられていく」そして、「客観的な指標は、保健活動の評価材料となる！」
—伝え手がパッションをもって思考することの大切さを肌で感じる機会ともなりました！

上記に関連して、月刊地域保健 4月号（2014）では、『**地域を健康にするデータ活用とは**』と題して、鼎談が掲載されています。“無関心層を巻き込むには？”“「健康」をキーワードに地域のつながりを広げるにはどうすれば良い？”“職域との連携で「地域デビュー」をどうやってスムーズにできる？”など数々の実践例とともに、多くの手掛かりが記されています。まさに、役立つ情報が満載です！ぜひご覧ください。

今回の研修会では、保健師 61 名（学生 5 名）に参加いただいたなかでの開催となりました。なんと「今日は、どうしても話を聞きたくて！」と退職された諸先輩方の姿もあり、身の引き締まる思いでした。

<お知らせ> 次回の研修会は、平成 26 年 11 月 21 日（金）です！

本年度も、計 3 回の研修会を企画します。次回は 11 月 21 日（金）「事例検討会」（保健指導ミーティング）を予定しています。詳細は、後日改めてお知らせ致します。お誘い合わせの上、ぜひご参加ください。

「あったらいいな」—アイデア募集します！

「こんなアイデアがあるんだけどなあ…」「鹿児島（かごんま）保健師同士がつながっていける、こんな場やネットワークがあったらいいな！」「やってみたい持ち込み企画があるんだけど…」など、ご希望・ご意見・アイデアなどがありましたら、いつでも職能委員会にご連絡ください。

看護師職能委員会**みなさん楽しみにしておられた研修会日程が決まりました！**

台風襲来により延期となっていた看護師研修会の日程が決まりました。

H27 年 1 月 10 日（土）10:00～です。

会場は鹿児島県看護協会大研修室です。募集は 200 名。

前回、申し込みをされた方も新たに申し込みをお願いいたします。

当初予定していた講師の宇都宮先生のスケジュールが合わず変更となりました。（来ていただけるように交渉続けます。次年度にはきっと！）

新たな講師は

日本看護協会 看護師職能委員会 I 病院領域委員長
川本 利恵子 先生 です。

2025 年問題へ大きく変化している医療・看護の動きと看護師職能委員会の動きについてお話し下さる予定です。それを受けて、急性期の病院、回復期の病院、療養・施設での退院支援についての現在の取り組みについて紹介していただく予定です。入院時から退院を見据えた取り組みをと言われていますが、遅々としてすすんでいない現状もあるのではないのでしょうか？ この研修を通して参加されている皆さんの問題解決や課題発見につながる研修となればと願っています。募集案内は後日、各施設へ送付させていただきます。たくさんのご参加お待ちしております。

パワフルage委員会

「自ら輝き続けるためにセカンドキャリアを考えよう」研修会報告

さる7月12日(土)に、上記テーマで研修会を開催しました。内容は、①森恵先生には、フォトセラピー～フォトコミュニケーションの実際～、②井上チエ子先生には、複合型施設の経営～看護・介護・保育園・有料老人ホームなど～について講演をいただきました。今年度は、40代、50代からセカンドキャリアをどう生きるか、自分の人生設計を考えてほしいとの思いから参加対象を看護職全般としました。30代、40代の参加者が多く、セカンドキャリアへの関心が高く早い時期から自分なりの人生設計を模索していることが伺えました。

<参加者の声>

- ◎ フォトケアは終末期の患者さんに有効だと思う
- ◎ フォトケアは在宅看護で活かすことができると知ったので活用したい
- ◎ フォトケアはこころの癒しになると痛感した
- ◎ ディサービスと託児所が一緒になった複合施設を作ることが友人と私の夢です
- ◎ 「自分でやりたい訪問看護をするためには自分で立ち上げるしかなかった」という言葉に熱い思いを感じた
- ◎ 様々な不安の中でも自分の夢に向かって頑張っている姿は素晴らしいと思った
- ◎ 今後もこの続きで、次のステップの研修があればぜひ参加したい
- ◎ 意見交換の時に聞きたいことが聞けた。もっと時間が欲しかった

地区だより

☆今回は大隅地区と鹿児島地区の報告となります。

大隅地区

大隅の活動

～ OOSUMI ナース・パワー全開！！～

大隅地区医療安全ネットワーク研修 平成26年8月2日開催



講演：「チームステップス」について

講師：富山大学附属病院 山本 陽子先生
琉球大学医学部附属病院 加治木 選江先生

参加者：64名（会員＝48名・非会員＝16）
ネットワーク委員＝11名ファシリテーター2名

内容：チームステップスは医療の質、安全、効率を改善するエビデンスに基づいたチームワーク・システムであり、患者の安全を最優先に考える「安全文化」を醸成することを目指している。患者へ適切な医療・看護を提供していく中で、コミュニケーションが大切かを実感し、患者・家族も交えた情報共有が如何に大切かを知らされた研修になりました。

(大隅地区医療安全ネットワーク委員会 知識修一)

新人看護職員合同研修会 平成26年7月19日開催

目的：「大隅に働く喜びを分かち合う」

参加者：新人48名（男性15名・女性33名）

* 申込者全員が参加しました

2年目ナース8名・プリセプター17名・委員11名

<アンケートの結果>

* 研修に満足しているが9割以上

* 同じ悩みを抱えていることが解りホッとした

* 先輩（プリセプター）たちも悩みながら指導して

いることが解り、自分たちも頑張らなければならないと思った

* プリセプターの悩みを発表する機会であった

* 大隅地区としてのネットワークの場となっている



<H25年度研修風景>

第18回日本看護管理学会学術集会で口演発表
「A 地方における新人看護職員の
就職先決定に影響を与える要因」

愛媛県松山市 平成26年8月29日・30日開催
(大隅地区長 前野 かつ子)



教育委員会 平成26年度8月30日開催

講演：「感染対策について～感染対策の基本から応用まで～」

講師：感染管理認定看護師 仮重 喜代美先生

内容：感染予防の基礎と応用について、1日がかりの研修でしたが81名の方が研修に参加して頂きました。午後からはゲームを取り入れた研修もあり参加者もかなり頭を悩ませながら楽しく研修に参加していました。今後も「看護師のキャリア開発」「褥瘡予防」「WLB」についての研修がくまれています。看護職として、のキャリアアップを図り、地域の医療に貢献していきたいです。
(教育委員長 あべ松美穂)



地域ケアサービス委員会の活動

事業名：青少年育成事業「クローバーZ」

日時：平成26年7月24日～26日

内容：自然体験活動やキャンプ生活・自然や歴史との触れ合いを通して地域の子供たちを地域全体で育てる意識を高める

参加者：小中学生総勢51名

看護協会ボランティアスタッフ述べ15人、高隈登山・カヌーでのシーカヤック等、一に体力・二に体力のボランティア活動でした。高隈登山では、頂上まで登頂できないスタッフもあり、来年のリベンジに燃えています。



公益社団法人鹿屋商工会議所ホームページより



公益社団法人鹿屋商工会議所ホームページより

事業名：かのや夏祭り・納涼花火大会救護

日時：平成26年8月23日・30日

看護協会ボランティアスタッフ 4名

* 台風で日程の変更がありましたが、笑いあり、感動ありの夏祭りでした。

是非・大隅にお越し下さい

鹿児島地区

今回は、平成26年度第1、2回研修会の内容を掲載させていただきました。今後の活動は、11月のHPに掲載させていただきます。研修計画については、鹿児島県看護協会のHP（教育研修のご案内）地区研修計画一覧をご覧ください。

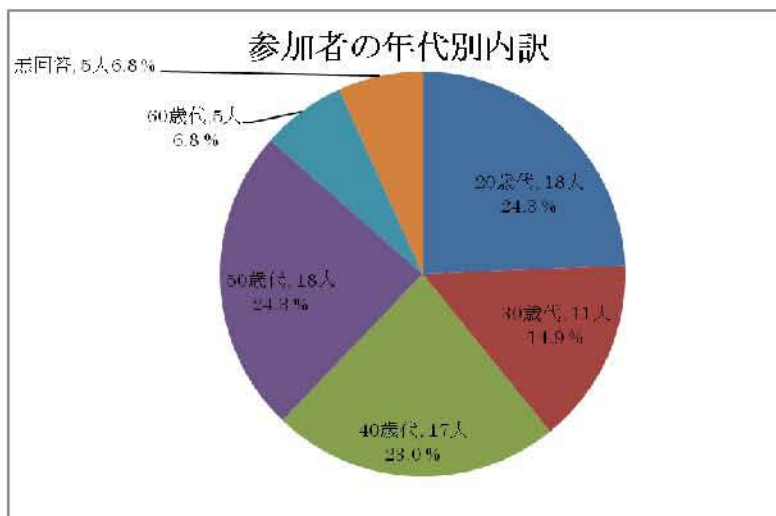
平成26年度 鹿児島県看護協会鹿児島地区 第1回研修会 平成26年6月14日(土)

テーマ：笑いヨガで心も体も元気

講師：新田みすづ先生

1. 参加者の年代別内訳

参加者数139人
アンケート回収数74人



2. 講演で印象に残ったことや感想（抜粋）

- ・先生が健康的でとても素敵だった。笑うことで体が温かくなり健康的だと思った。
- ・患者さんの前で笑顔で接することができるようにしていきたい。
- ・仕事の中でも笑顔をモットーに笑顔の輪を広げていきたい。
- ・笑うとストレス解消になる！生活におおいに取り入れるぞ！
- ・笑いヨガを初めて知ってすごく楽しめた。ぜひ、子供と一緒に笑いの多い日々を過ごしたい。
- ・笑えないと思ったが自分が笑えることに驚いた。
- ・笑うことに理由はないということが印象に残った。
- ・身体を動かすことが（普段使わない筋肉を使って）できて、久しぶりに運動した気分になった。

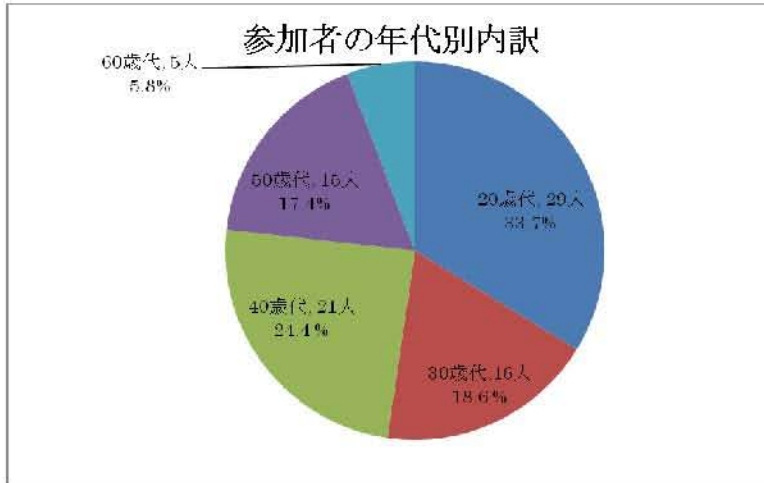
今回の研修テーマである「笑いヨガ」は、笑いの体操とヨガの呼吸法を組み合わせた健康法で、実技中心の講演だったため、とても楽しく有意義な研修でした。実際やってみると最初は、ぎこちなくもちろん作り笑いの参加者でしたが、最後には自然な笑顔で心身共にスッキリし心豊かな気分になったことを多くの方が実感していました。笑うことは、免疫力を高めストレス解消に役立ち、心と身体の健康に効果があります。今後、職場のスタッフと共に元気に過ごせるように「笑い」を大切に日々頑張りたいと思います。（教育委員 尾辻さおり）

平成26年度 鹿児島県看護協会鹿児島地区 第2回研修会 平成26年7月12日(土)

テーマ：「感染対策の基礎」

講師：土屋香代子先生
渡邊真裕子先生

1. 参加者の年代別内訳



参加者109名
アンケート回収数86名



2. 本日の講演で印象に残ったことや感想（抜粋）

- ・ラウンドの際の写真等他の病院の現状を知りながら講義を受けることができ楽しかった。
- ・感染についての正しい知識が学べ、不安や困惑することが取り除けた。
- ・感染経路別の対策が学べたので病院で活かしていきたい。
- ・感染症病棟（結核）に勤務しているので実際すぐに役立つ他スタッフへ伝達します
- ・忘れがちな基礎を振り返ることができて良かったです。
- ・ケアごとの教育、マニュアルの必要性、個人防護具の使い方、結核発生時の対応が解りやすかった。

大型台風が過ぎまだ天候も落ち着かない中 100名を超える参加者がありました。また終了後のアンケートでも研修参加の動機に「テーマに惹かれたから」との回答が半数以上あり、現場での感染に対する意識の高まりや重要性が見受けられました。その反面、感染への対策に戸惑う意見も多く聞かれました。今回の研修ではDVDや写真を用い、実際現場で行われている事を見直した忘れがちな基礎を再確認する事が出来たと思います。
(教育委員 新屋敷由美子)

看護かごしま7月号の訂正について

7月号で御案内いたしました南薩地区及び出水地区の役員一覧に誤りがございました。正しくは下記のとおりとなります。訂正しお詫び申し上げます。

南薩地区 ■平成26年度 役員

役員	氏名	所属
第1副地区長	岩田真紀子	県立薩南病院

出水地区 ■平成26年度 役員

役員	氏名	所属
地区長	木山淳子	出水郡医師会広域医療センター
第一副地区長	本蔵信子	出水総合医療センター
第二副地区長	小船井千裕	内山病院
書記	野添伊知雄	出水郡医師会広域医療センター
会計	吉井久美子	出水総合医療センター

教育委員 6名		
氏名	所属	所属
松本勇樹(委員長)	出水郡医師会立第二病院	
園島紀登美	出水総合医療センター	
岩崎真理	出水郡医師会広域医療センター附属阿久根看護学校	
福浦のぞみ	荘記念病院	
福永真由美	介護老人保健施設 回生苑	
瀬戸口理絵	県立野田女子高等学校	

地域ケアサービス委員 6名		
氏名	所属	所属
浦名裕樹(委員長)	出水総合医療センター	
小幡純子	出水総合医療センター	
小村小百合	出水郡医師会広域医療センター	
瀬ノ口恵子	長島町役場	
中島夏美	北薩地域振興局保健福祉環境部出水支所	
中原喜代子	出水総合医療センター高尾野診療所	

平成26年度全国代議員		
木山淳子	出水郡医師会広域医療センター	
小船井千裕(予備)	内山病院	

平成27年度 看護協会入会のご案内

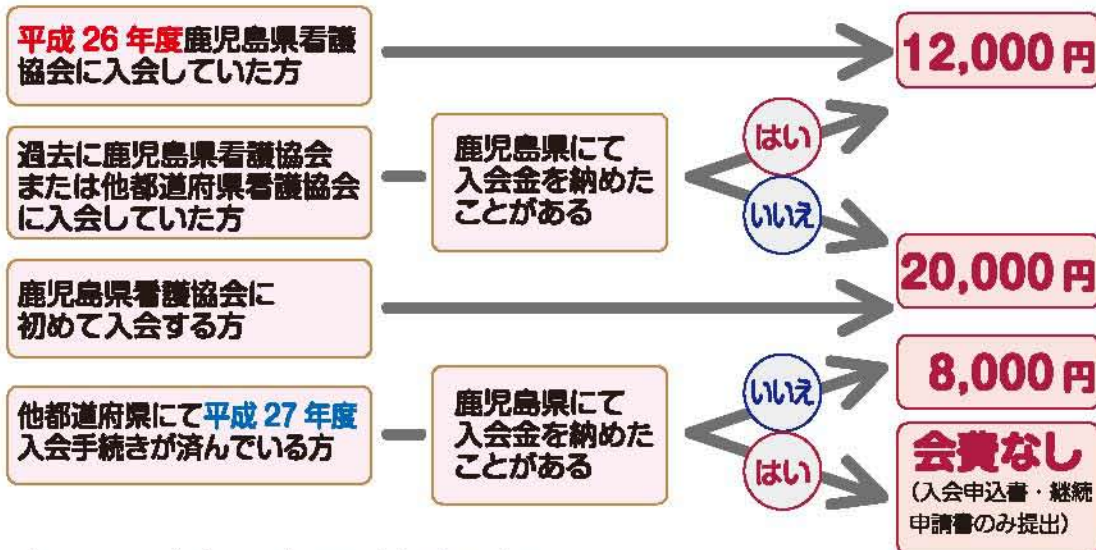
12月より、平成27年度の会員継続・新規入会の手続きが始まります。
 「入会申込書・継続申請書」用紙の送付は、11月中旬を予定しております。
 平成26年9月末までに入会された方には、「平成27年度会員継続申請書（プレプリント版（※））」を、10月以降の入会者・新規・再加入の方は、手書き用入会申込書での手続きとなります。引き続きのご入会・新規のご入会をお待ちしております。
 平成27年度会員証の送付は、平成27年3月以降となります。

なお、平成26年度の入会も1月中旬まで受付ます。

（※）プレプリント版とは：前年度の会員個々の登録情報が印字された継続申請書。

会費等内訳

- ☆ 平成26年度会員の方は継続で、日本看護協会費 5,000円・鹿児島県看護協会費 7,000円で、合計 12,000円になります。
- ☆ 鹿児島県看護協会に初めて入会する方・過去に入会歴はあるが未納の方は、入会金が 8,000円必要になりますので、合計 20,000円になります。



- ★ ご不明な点は、お問い合わせ下さい。
 TEL 099-256-8081 FAX 099-256-8079：会員管理担当

平成26年度「看護職賠償責任保険制度」の加入手続きが始まりました！

「看護職賠償責任保険」加入には、看護協会の会員資格が必要です。
 詳しくはホームページ (<https://li.nurse.or.jp>) をご覧いただくか
 下記コールセンターへお問い合わせください。
 コールセンター 0120-088-073
 (平日 9:00~20:00 / 土日祝 9:00~17:00)

平成26年度 鹿児島県看護協会会員数	
保健師	433人
助産師	347人
看護師	9,793人
准看護師	955人
合計	11,528人

平成26年10月7日現在
 ※前年同月より350人増とっております。

入会特典

期間限定

公益社団法人 鹿児島県看護協会 福利厚生特別企画

期間中【2014年12月13日(土)～2015年1月12日(月.祝)】に限り

※(注)12/31…19:00からのカウントダウン営業は対象外

サンリオキャラクターパーク
ハーモニーランド

無料ご招待

【会員とのお家族様 対象】

入園+アトラクション利用のパスポートチケット(通常1名 2900円)が無料!

※一部アトラクションは
別料金となります。



86万球が煌めくハーモニーランドイルミネーション
Xmasにはツリーも登場してロマンティック
2つの新スポットも加わりますます華やかに!

ILLUMINATION
2014-15

サンリオ
ニッポンライアル

キティロボット
KITTYROBOT

ご利用方法

下記利用申請書に必要事項をご記入の上、必ず「鹿児島県看護協会会員証」と一緒にハーモニーランドチケット売場に提示してください。入園とアトラクション利用のパスポートチケットをお渡しいたします。

※「利用申請書」のみの提示、または「会員証」のみの提示では本企画をご利用できません。必ず、「利用申請書」「会員証」の2つを一緒に提示してください。

《営業時間》※入園料の1階階まで

10:00-17:00	10:00-20:00												
2014年 12月の営業時間							2015年 1月の営業時間						
Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun
					13	14	1	2	3	4			
15	16	17	18	19	20	21	5	6	7	8	9	10	
22	23	24	25	26	27	28	11	12	13	14	15	16	
29	30	31					17	18	19	20	21	22	

ハーモニーランドに誘われるお問合せ
TEL0977-73-1111

アクセスMAP 日出入ICから約2分!



切り取り

鹿児島県看護協会 会員専用 ハーモニーランド 利用申請書

【対象期間】2014年12月13日(土)～2015年1月12日(月.祝)
※(注)12/31…19:00からのカウントダウン営業は対象外

会員番号	氏名		P313
利用申請者 (4歳以上の方) ※4歳未満の方は無料 となりますので記入不要です。 ◎会員番号は 会員証の添 記入	氏名	氏名	氏名
	氏名	氏名	氏名

ご利用日 月 日 ご利用者合計数(4歳以上) 名様

お買い物・お食事でもお得な特典が! 園内で使えるお得なサービス券をご来園時にプレゼント!

◆第3回理事会 平成26年7月19日(土)13:30~17:00 16名出席

◆ 協議事項

1 事業推進に関する事項

- (1) 平成26年度事業計画について
- (2) 通常総会における質問・意見等への対応及び常任・特別委員会への諮問事項について
- (3) 日本看護協会通常総会での重点事業等について
- (4) 新たな財政支援制度に係る基金への対応について

2 管理的事項

- (1) 県看護協会組織、看護協会役員の位置づけ、職務等について
- (2) 県看護協会定款施行細則の改正について
- (3) 地区規約の改定について
- (4) 認定教育機関更新に伴う認定看護管理者教育課程規則等の改定について
- (5) 県看護協会ハラスメント対策について
- (6) 役員及び委員の傷害保険の統合について
- (7) 理事報酬及び旅費等の支払いについて

3 会員支援関係

- (1) 協会加入促進について
- (2) 会員の福利厚生について

4 その他

★ 報告事項

1 事業推進に関する事項

- (1) 助産師出向システムモデル事業の進捗状況について
- (2) 災害時の健康相談等の支援活動に関する協定の締結について
- (3) 県防災総合訓練(志布志市)への参加について
- (4) ワーク・ライフ・バランス推進事業の進捗状況について
- (5) 都道府県医療介護連携調整実証事業について
- (6) ファースト・セカンドレベル教育受講者について
- (7) 弁護士の顧問契約について

2 管理的事項

- (1) 平成26年5月の理事会について
- (2) その他

3 会員支援関係

- (1) 日本看護協会名誉会員及び日本看護協会会長表彰者について
- (2) ホームページの活用について

◎ その他

- 1 鹿児島県看護連盟との連絡会について
- 2 連絡事項

◆ 毎回、日本看護協会理事会報告、職能委員会報告、地区報告、地区長情報交換会報告を口頭で、前回開催の理事会議事録・運営委員会議事録、各委員会報告・他団体会議報告・県外出張報告を書面で行っている。

理事会 報告

◆第4回理事会 平成26年9月27日(土)13:30~17:00 16名出席

◆ 協議事項

1 事業推進に関する事項

- (1) 新たな財政支援制度に係る基金への対応について
- (2) 看護職員能力向上対策研修事業について

2 管理的事項

- (1) ハラスメント対策について
ハラスメントに対する相談員の対応マニュアルについて
- (2) 理事報酬規程の改正(案)について
- (3) 職員の給与規程改正(案)について
- (4) 役員の兼職について
- (5) 平成27年度改選役員・推薦委員並びに平成28年度代議員及び予備代議員の公募について

3 会員支援関係

- (1) 協会加入促進について
- (2) ハーモニールンドの利用について

★ 報告事項

1 事業推進に関する事項

- (1) 平成26年度重点事業及び事業計画について
総会時の質問等への対応について
- (2) ワーク・ライフ・バランス推進事業ワークショップの実施結果について
- (3) 助産師出向システムモデル事業の進捗状況について
- (4) 知事への要望書について
- (5) 准看護師対策について
- (6) 再就業支援セミナーについて
- (7) 県看護教育協議会との意見交換
- (8) 平成26年度災害支援ナース派遣調整合同訓練について

2 管理的事項

- (1) 議事録(理事会・運営委員会)
- (2) 平成26年度役員及び委員(本部・地区)に係る災害保険契約について

3 会員支援

- (1) 平成26年度 鹿児島県公衆衛生事業功労者(団体)表彰の推薦について
- (2) 平成26年度看護職賠償責任保険制度の加入状況について

編集後記

暑い暑い夏が終わり、朝・晩も涼しくなってきました。

みなさん、夏バテなどしていませんか。

食欲の秋です。おいしい物を食べて体力をつけましょう。看護協会の2階もリニューアルしています。研修参加ついでに足をお運びください。

メンバー一同より



看護専門職として
社会に貢献しよう



会員の増加と福祉の
向上のため活動しよう

公益社団法人
鹿児島県看護協会
鹿児島市鴨池新町21-5
TEL.099-256-8081 FAX.099-256-8079
URL <http://k-kango.jp>
E-mail kakankyo@orange.ocn.ne.jp